

週刊文春 8月10日号[雑誌]



発売日: 2017年8月3日

出版: 文藝春秋

著者: 司馬遼太郎, 森秀樹, 出口治明, 伊集院静, 林真理子, 水道橋博士,
みうらじゅん, 町山智浩, 宮藤官九郎, 尾木直樹, 近田春夫, 土屋賢二, 宮崎哲弥,
柳家喬太郎, 東海林さだお, 益田ミリ, 桜玉吉, 伊藤理佐

ページ: 144

PDF

斉藤由貴 背教のダブル不倫
夫婦そろって敬虔なモルモン教徒。
教会の駐車場にポルシェを止め、向かったのは横浜中華街。
マンションの一室で待つのは妻子あるエリート医師.....。
『カンナサーン!』『西郷どん』と出演作が目白押しの斉藤由貴。
魔性と呼ばれた独身時代は遠く過ぎ去り、
夫と3人の子もたちと平穏な日々を過ごしているかと思いきや、
地元横浜で妻子ある医師と密会を重ねていた。
尾崎豊、川崎麻世以来、24年ぶりの不倫疑惑の真相をすべて明かす。

安倍首相を選挙応援 加計学園「公選法違反」疑惑
重大証言「2009年衆院選の応援に職員を派遣」
・「強制的に選挙運動に動員」組合抗議文書入手
・衆院選前に小倉で安倍と会食していた加計理事長
・団交で大学幹部も驚愕「出張命令でやっちゃったの？」
・客員教授みのもんたが「月20万円で講義は一度もなし」
・田原総一郎の「大冒険すべき」に飛びついた安倍官邸

肉を食べて「熱中症」を防ごう！
肉と牛乳で放熱するカラダに / 炭酸水で消化管に刺激を /
夏こそお腹を温める / ルイボス茶と黒豆茶の効用 /
肉類は栄養のベストミックス / 朝食を食べることが重要ほか

オバマが絶賛「夢のがん免疫治療法」
米では驚異の奏効率8割！日本でも治験開始へ
抗がん剤治療で避けられないのが強烈な副作用。
がん細胞だけに投与できれば.....と長年言われてきた。
米国で研究中の小林氏が開発したのは、「ゴルゴ13」のように
敵だけを確実に仕留めるという画期的な治療法。
オバマ前大統領も絶賛した最先端の研究を紹介する。

遠心力の女王・蓮舫の心を折った男たち
瀕死の安倍政権を前に自爆
寝耳に水の辞任劇だった。
蓮舫氏が新代表に担ぎ上げられたのは、わずか10カ月前のこと。
「攻めと受け。受けの部分に私は力を十分に出せませんでした」。
辞任会見での蓮舫氏の言葉は、一致団結すべきときに
必ずバラバラになる民進党の“宿痾”を意味するのか。

司馬遼太郎・初漫画化！「幕末 桜田門外の変」作画・森秀樹
暗殺劇に加わるべく、江戸に身を寄せる薩摩藩士・有村治左衛門。
心寄せる松子と出かけたある日、急な雨に降られ小屋に駆け込んだのだが.....。

村田諒太を私物化する「ボクシング連盟のドン」

北朝鮮ミサイル乱射 金正恩は暗殺に怯えて酒浸り
「バカなんだから」杏が“不肖の父”渡辺謙を一刀両断
2年で2万円、ヤマト未払い残業代にドライバーが怒った
清宮クンの出ない甲子園で消えた「経済効果40億円」
阿川佐和子のこの人に会いたい 茂木健一郎（脳科学者）

グラビア

原色美女図鑑 武井咲 撮影・アマタマリ
原色美男図鑑 宮野真守 撮影・熊谷貫
スクープ撮 斉藤由貴「魔性も再ブレイク」

好評連載

司馬遼太郎 / 森秀樹 / 出口治明 / 伊集院静 / 林真理子 / 水道橋博士 / みうらじゅん / 町山智
浩 / 宮藤官九郎 / 尾木直樹 / 近田春夫 / 土屋賢二 / 宮崎哲弥

「週刊文春」電子版は、紙版とは一部内容が異なります。掲載されていない記事、ページが
あります。ご応募できないプレゼントや懸賞があります。
この商品はタブレットなど大きいディスプレイを備えた端末で読むことに適しています。
また、文字列のハイライトや検索、辞書の参照、引用などの機能が使用できません。

1959年創刊。多くの人気連載、名物グラビア企画に加えて、政治、経済、スポーツ、芸能と
あらゆる分野のスクープ記事が満載。発行部数No.1の総合週刊誌です。

<https://k2s.cc/file/eec96cc57b953/5YFhT5hSM.pdf.rar>